

概要

- 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。
- 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 本日（30日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。

活動の様子（7月30日）

【人命救助活動】

- 商業施設（イオンモール熊本）において、陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）の人員約170名、海自救助犬3頭で人命救助活動を実施中。
- 日本製紙八代工場において、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）の人員約110名で瓦礫撤去を実施中。
- 八代郡氷川町地区において、空自築城救助犬及び新田原救助犬6頭で搜索救助活動を実施中。

【輸送活動】

- 生活支援物資輸送のため、海自艦艇4隻（ぶんご、げんかい、えんしゅう、水中処分母船5号）が、八代港に入港。入港後、搭載した生活支援物資を陸自西部方面特科連隊へ引継ぎ、避難場所等への輸送を実施中。

【給水支援活動】

- 本日（30日）も、大津町4箇所、熊本市3箇所、葦北郡芦北町2箇所、上天草市4箇所、宇土市3箇所、益城町1箇所、宇城市2箇所、八代市4箇所及び御船町1箇所の計24箇所において、人員約120名、水タンク車及び水トレーラー32両により、引き続き給水支援活動を実施中。

【入浴支援】

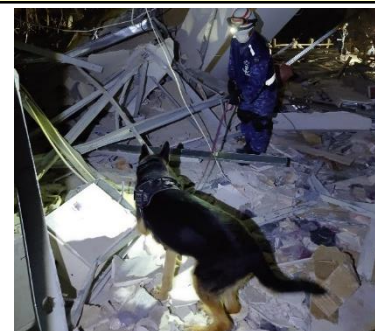
- 海自呉の人員約40名、入浴セット×1が健軍駐屯地に到着済み。
- 海自佐世保の人員約40名、入浴セット×1が八代港岸壁に到着済み。

【連絡員の派遣状況】

- 連絡員について、熊本県庁等に、最大47箇所・延べ約125名派遣。



商業施設の確認にあたる陸自隊員



商業施設を捜索する海自救助犬



海自艦艇「ぶんご」から
救援物資を下す陸自・海自隊員



海自艦艇「ぶんご」から
陸自「水タンク車」へ給水



クリニックへ給水を行う空自隊員



クリニックへ給水を行う陸自隊員

本日
（30日）
の
自衛隊の
主な活動